

任意予防接種について

種類の異なるワクチンの受け方
 【生ワクチン】接種後 →27日以上あけ
 【不活化ワクチン】接種後 →6日以上あけ

お誕生日
 平成 年 月 日

※ 予防接種の分類は、平成30年4月1日現在のものです。

月齢ごとの日付をいれましょう


下呂市版

1 予防接種の種類	2 どんな病気？	3 ワクチンの効果は？	4 受け方 計画は、かかりつけ医と相談しましょう。	定期の推奨接種開始時期 接種可能な期間（国が定めている接種可能期間）																	
				1 か 月	2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月	9 か 月	10 か 月	11 か 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳
ロタウイルス	ロタウイルスによる感染症は、5歳までにほとんどの人が感染を受ける。激しい下痢などで、脱水、けいれん、脳症をおこすこともある。2歳未満だと重症化しやすい。生後6か月頃から患者が急増する。初回接種後に腸重積症のリスクが増加し、乳児期後期に発症頻度が高くなる。そのため、初回接種は、14週と6日までに開始を推奨。	外国では予防接種により、病気が劇的に減少したという報告があります。	回数 1価 2回	効果的な接種時期と間隔	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
			1価 2回	生後6週間から開始 4週以上の間隔で2回、24週までに完了	1回目(年 月 日) 2回目(年 月 日)	4週以上	★24週までに完了する	1価か5価かどちらか1種類を選ぶ													
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	おたふくかぜウイルスによるもので、両方またはどちらかの耳下腺ははれてくる。かかっても軽症の場合が多いが、重い合併症を起こすことも多い。無菌性髄膜炎が50人に1人の割合で起こる。1000人に1人の割合で重度の難聴が起こる。	接種者の約90%は抗体を獲得し、効果は10年持続する。1回接種では十分ではなく、2回の接種を推奨。	回数 2回(推奨)	効果的な接種時期と間隔	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
			1回 (推奨)	1歳で1回 就学前年度に2回目の接種を推奨	1回目(年 月 日) 追加(年 月 日)	4週以上	★24週までに完了する	下呂市では、1歳～4歳未満のお子さんに対して1回分の接種費用を助成しています。													
インフルエンザ	インフルエンザウイルスによって起こる呼吸器の感染症で、初冬から春先に流行する。ほとんどが自然に治るが、肺炎、気管支炎、仮性ク룹(声を出す喉頭が炎症をおこしてはれる病気)などの呼吸器の病気や脳炎、脳症を起こして重症化することもある。日本の子どもの脳炎の最大の原因で、毎年200～500人が脳炎になっている。熱が出てから約2日の間におこりやすくなる。	1～6歳未満の乳幼児には発症を阻止する効果は20～30%。効果は2週間～5か月程度。	回数 2回	効果的な接種時期と間隔	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1回につき2700円の助成	13歳未満は、2～4週の間隔で2回接種(効果を高めるためには4週で接種するのが望ましい)13歳以上は1回接種 接種時期は、流行時期に備え、10月～12月頃に接種遅くとも12月中旬に接種完了が望ましい	13歳未満の場合	1回目(年 月 日) 2回目(年 月 日)	2～4週以上	★32週までに完了する	下呂市では、13歳未満のお子さんに対しては2回分、13歳以上のお子さんについては1回分の接種費用を助成しています。															

参考文献: 予防接種ガイドライン・予防接種とこどもの健康
 予防接種に関するQ&A集

助成あり

下呂市では、子育て支援策の一環で予防接種料金の一部助成を行っています。左のマークがあるものが、助成の対象となる予防接種です。この事業による予防接種は、法律に義務づけられ
 たものではなく接種者の希望によるものです。接種を希望される方はこの事業を活用し計画的に
 接種しましょう。
 ただし、下呂市に住民票のある方が市内の医療機関で接種する場合に限りです。



- 【予防接種に関する相談・お問い合わせ先】**
- ◎健康医療課（星雲会館内） ☎53-2101
 - ◎萩原保健センター ☎52-1230
 - ◎小坂保健センター ☎62-3443
 - ◎下呂保健センター ☎25-2680
 - ◎金山保健センター（金山振興事務所内） ☎32-4500
- * 馬瀬地域の方は、萩原保健センターへご連絡下さい